

皆川 浩二

Koji Minagawa

“Action! 「動けば変わる」”を掲げ、公共に益する公営競技に携わる

日本を代表する公営競技の一つ、ボートレース。マスメディアなどでよく見かける名前ですが、その内容や運営母体などは知らない方も多いと思います。今回登場していただく皆川浩二さんは、(財)日本モーターボート競走会で会長職を務めるボートレース界のトップの一人。どんな仕事をされて来たかなどを語っていただきました。

私がボートレース業界に入ったきっかけは、実家が愛知県常滑市にあることに起因しています。ご存知の方もいると思いますが、常滑市にはボートレース場があります。その運営をされていた役員の方から「我が地元からボートレースに携わる審判員とか、検査員になる人材が出て来てほしい。業界に就職してほしい。」というお話をいただき、では審判員の資格でも取得しようか。というのが私がボートレース業界に入るきっかけです。その当時は社団法人 愛知県モーターボート競走会という名称でした。

日本モーターボート競走会はレース運営を委託されている公益法人なので、そもそも利益を追求する団体ではありません。開催権はボートレースを実施している各地方自治体が持つており、私たちは主に公正なレース運営、選手や審判員などの養成、選手や



その後、総務関係部署に移り、様々な企画業務に携わり経験を積んで社団法人 愛知県モーターボート競走会の会長に就任した訳です。ボートレース場がある19の道府県の競走会を束ねるのが社団法人 全国モーターボート競走会連合会で、私はその役員も兼任していました。それが一本化され財団法人となったのが平成20年。その翌年に会長に選出され、現在に至っています。

ボート・モーターの登録、選手の各ボートレース場への斡旋などが法定業務です。収入に関する規定も法律で定められ、レース収益の多くは各地方自治体の財政に回ります。それぞれの地元



を運営する私たちの責務です。今はレジャーが多様化し、公営競技のファンが減少気味ですが、一人でも多くの方々に関心を持っていただけるように取り組んでいます。

私は“Action! 「動けば変わる」”をモットーに掲げ、すべてのことに挑戦する姿勢を心掛けて行動しています。今でも一ヶ月に10日程は全国のボートレース場を回り、改善できる点がないかチェックすることに余念がありません。いろいろなと厳しい時代ですが、私は3C(チャレンジ・チェンジ・チャンス)の精神で乗り越えていきたいと日々努めています。自分の進みたい道にチャレンジし、そこでチェンジすることで、活躍するチャンスができると確信しています。

最後に、同窓生の皆さんのご活躍と、同窓会のさらなるご発展を心から祈っております。

OB's & OG's NOW 活躍する同窓生



Profile

皆川浩二 氏

(70E)

財団法人 日本モーターボート競走会
会長

